

日本地域学会ニューズレター

令和4年 no.1

令和4年2月28日

目 次

I. 副会長挨拶	… 2
II. 日本地域学会第59回(2022年)年次大会(令和4年10月7~9日)のご案内 論文報告の募集, シンポジウムについて	… 3
III. 総会報告 高知大学(オンライン)で開催された日本地域学会総会についての報告	… 4
IV. 理事会報告 令和3年度第7-10回	… 5
V. 委員会報告	… 7
1. 優秀発表賞選考委員会(受賞者の紹介)	
2. 機関誌編集委員会(第71回についての報告)	
VI. 会費納入のお願い 令和4年度会費請求額, 会費早期納入の特典, Web会員について	… 9
VII. 第27回 PRSCO 2022 京都大会のご案内	…10
VIII. 学会賞候補者推薦の募集	…12
IX. 会員の移動	…13
『地域学研究』バックナンバー申込書	…15
正会員入会申込書	…16

注意：令和4年度会費請求書が同封されています。

(納入期限 令和4年3月末日)

I. 副会長挨拶

日本地域学会会長
木南莉莉

副会長挨拶：

2021・2022 年度の副会長を拝命いたしました木南莉莉です。他の副会長や役員の皆様とともに徳永澄憲会長をお支えし、本学会のより一層の発展に尽力したいと思います。

私の地域科学との出会いは 1994 年に筑波大学社会科学系助手として在職中に当時の筑波大学社会工学系の河野博忠教授（元国際地域学会 RSAI 会長，第 3 代日本地域学会会長）から、本学会への入会勧誘の電話をいただいたのが始まりです。その後も、河野先生や氷鮑楊四郎先生（元国際地域学会会長，元太平洋地域学会 PRSCO 会長，第 12 代日本地域学会会長）及びそのお弟子さん達とともに，RSAI 大会や PRSCO 大会などの国際学会に参加し，論文を発表してきました。特に RSAI 東京大会での論文発表は座長の Prof. Kinsley Haynes 先生（当時の RSAI 会長）及びコメンテーターの Prof. Geoffrey Hewings 先生から建設的なご意見をいただき，その後，ERSA Summer Institute in Munich では座長の Prof. Peter Batey 先生の励ましと当時の Pacific Editor (Papers in Regional Science) の Prof. Jacques Poot 先生によるご丁寧な添削をいただき，国際ジャーナル紙 (PiRS) に論文掲載ができました。また，Prof. Peter Nijkamp 先生の温かいお誘いの下 Public Facilities Planning (Classics in Planning 3) の編集に携わることができ，視野を広げられました。さらに，日本地域学会設立 50 周年記念誌『地域科学 50 年の歩みと展望』の編集に携わることや第 53 回年次大会の実行委員長を務めることを通じて，地域科学をベースとする研究を活発化させることの重要性とその成果を世界へ向けて発信する必要性を実感しました。2018 年から日本地域学会の推薦で国際地域学会理事 (PRSCO 代表) を 2 期務めさせていただ

き，世界中の優れた地域科学者との交流を通じて多くの学びを得ております。

日本地域学会の特徴は，「地域や地域間で生じる現実の課題をテーマとした学際的協働，専門分野の壁を超えた活発な議論，新しい研究手法の弛まぬ探究」(氷鮑 (2012)「設立 50 周年を迎えて」) です。私自身は中国の上海财经大学工業経済学部を卒業し，上海技術監督局の専門職に 3 年間勤めた後，三重大学で農学修士，東京大学で農学博士を取得しました。これまで，中国の労働力移動に関する計量経済学的分析，国際産業連関表によるアジア域内・外の分業形態の分析などを経て，近年は都市農業の多面的機能の発揮による持続可能な都市発展に向けての混合研究法(mixed methods research)による分析を行っています。

2022 年は日本地域学会設立 60 周年を迎える年であり，その記念に相応しい書物がこのほど Springer から出版されました (Kohno and Higano (2022) Public Investment Criteria: Using an interregional input-output programming model, New Frontiers in Regional Science: Asian Perspectives 2)。本書を通して，本学会の設立及び発展にご尽力いただいた諸先輩の学問への知的好奇心と現実社会の要請に応えようとする強い使命感に深く感銘を受けております。

近年では，人の多様な背景への理解が広がっており，企業，大学，自治体等においても，多様性を尊重する動きが広がっています。RSAI ではすでに多様性に関わるガイドラインを作成するための委員会を立ち上げています。日本地域学会でもガイドラインを策定し，多様性を理解・尊重する方向性を示すことができればと期待しています。

本年の 8 月に PRSCO 大会は京都で開かれる予定であり，大会開催とともに日本地域学会主宰の英文誌 Asia-Pacific Journal of Regional Science 及び New Frontiers in Regional Science: Asian Perspectives シリーズを活かし

ながら更なる国際的発信力が高められると信じています。

地域科学の益々の発展に微力ながら貢献し、日本地域学会を会員の皆様とともに盛り上げていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

II. 日本地域学会第 59 回(2022 年)年次大会(令和 4 年 10 月 7~10 日)のご案内

日本地域学会第 59 回(2022 年)年次大会は、麗澤大学において下記の通り開催されます。会員諸賢におかれましては、論文報告、特別セッションの編成等、奮ってご参加下さい。

記

開催日: 令和 4 年 10 月 7 日(金)~9 日(日)

開催校: 麗澤大学

会 場: 麗澤大学

〒277-8686 千葉県柏市光ヶ丘 2-1-1

大会準備委員会: 委員長 小野宏哉 (麗澤大学副学長)

セッション:

共通論題

- a) 地域経済・地域雇用
- b) 産業集積・情報
- c) 環境評価・環境政策
- d) 地域環境・地球環境
- e) 国際経済政策
- f) 交通・コミュニケーション
- g) 経済分析・モデル分析
- h) 意識分析・行動分析
- i) 地方分権・地方財政・道州制
- j) 持続可能都市・地域システム
- k) 都市再生・地域再生
- l) 沿岸域管理・海洋政策
- m) ツーリズム
- n) アジア経済

一般論題

立地, 人口移動, 地域経済等の地域学一般の課題すべて

公開シンポジウム:

テーマ (仮題)SDGs と地域創生

以上

論文報告・特別セッション編成の募集

論文報告と特別セッションの編成を希望される方は、下記の事項を明記し、日本地域学会事務局へ e-mail で応募して下さい。応募締切は令和 4 年 4 月 25 日(月)です。なお申込サイトは 3 月下旬に公開予定です。

[論文報告] 応募の必要事項

1. 論文タイトル
2. 上記が和文の場合には、同英文訳
3. 著者名, 所属 (複数の場合には発表者を明記)
4. 同上英文表記
5. Abstract 和文 (700 字以内) および英文 (200words 以内) の双方を提出
6. 対応責任者氏名, 連絡先住所, tel, fax, e-mail アドレス等
7. 希望討論者 2 名 (会員に限る。必ずしも希望通りとならないことをあらかじめご承知おき下さい)

[特別セッション編成] 応募の必要事項

1. セッションタイトルおよびセッションの意図, 内容等の概要 (和文 300 字以内, 英文 100words 以内)
2. 座長 (1-2 名の会員) 氏名, 所属, 同英文表記
3. 1 セッション当たり 3-4 編の報告を目途に各論文についての上記論文報告希望に準ずるデータ。但し, 討論者は各々の論文について 1 名でも可。
4. 応募責任者氏名, 連絡先住所, tel, fax, e-mail アドレス等

論文報告等に関する問い合わせおよび応募は次の日本地域学会事務局宛にお願いします。

筑波大学生命環境系
水野谷研究室内
日本地域学会事務局
〒305-8572 つくば市天王台 1-1-1
tel, fax: 029-853-7221
メールによる応募: app@jsrsai.jp
メールによるお問合せ: sec@jsrsai.jp
応募申込書の入手: <http://jsrsai.jp/ja/>

年次大会の参加申込み

大会および懇親会の参加申込み方法は、次号のニューズレターおよび学会 HP にて公表する予定です。

学会 HP: <http://jsrsai.jp/ja/>

Ⅲ. 総会報告

令和 3 年度総会が、去る令和 3 年 10 月 9 日 10 時 30 分より、オンラインで開催されました。徳永会長（麗澤大学学長）より挨拶、同会長を議長として審議および報告が行われました。つづく学会賞授与式では、水野谷学会賞選考委員会副委員長からの選考経過、および授与者の報告がなされ、総会は無事閉会しました。当日の次第、審議及び報告の内容は以下の通りです。

1. 議題

1) 新入会員・退会希望者の承認

水野谷総務担当常任理事より前回の総会以降の新入会員、退会会員について報告があり、これを承認。これをもって会員数は個人会員 1,033 名、法人 6 団体となった。

2) 令和 2 年度の事業報告の承認

水野谷総務担当常任理事より報告がありこれを承認。

3) 令和 2 年度の収支決算の承認

櫻井財務担当常任理事に代わり内田事務局次長より報告後、資料に基づき監査が完了している旨、徳永会長より報告があり、これを承認。

4) 令和 4 年度の事業計画の承認

水野谷総務担当常任理事より令和 4 年度事業計画の報告があり、これを承認。

5) 令和 3 年度の収支予算(修正案)の承認

櫻井財務担当常任理事に代わり内田事務局次長より報告があり、これを承認。

6) 令和 2 年度の収支予算の承認

櫻井財務担当常任理事に代わり内田事務局次長より報告があり、これを承認。

7) 名誉会員の承認

臼井名誉会員推薦委員会委員長より下記名誉会員の推薦報告があり、これを承認。その後、新規に名誉会員となられた方々から挨拶があった。

新規名誉会員

- ・第 40 代 細江 守紀氏
- ・第 41 代 高橋 秀悦氏
- ・第 42 代 戸田 常一氏
- ・第 43 代 阿部 宏史氏

8) 第 59 回（2022 年）年次大会の開催地、開催校等の承認

9) 第 60 回（2023 年）年次大会の開催地、開催校等の取扱いの承認

水野谷総務担当常任理事より西日本の大学と開催の交渉を行うことが報告され、今後の取り扱いについては事務局に一任することを承認。

2. 報告

1) 『地域学研究』第 51 巻の編集

多和田機関紙編集委員長より編集状況の報告があった。

2) Asia-Pacific Journal of Regional Science (APJRS) について

氷皐理事（企画担当）より編集経過が報告された。

3) RSAI の動向

木南（莉）理事より RSAI 理事会審議内容の報告があった。

4) PRSCO の動向

渋澤庶務担当常任理事に代わり鈴木理事

より PRSCO 理事会審議内容の報告があった。

3. 学会賞授与式

1) 選考経過報告

水野谷学会賞選考副委員長より学会賞選考委員会における選考経過について説明があった。その後、第 29 回及び第 30 回学会賞の各受賞者から挨拶があった。

2) 第 30 回学会賞授与者報告

功績賞：なし

論文賞：片岡光彦

奨励賞：Carlos Mendez, Vo Hoang Ha

著作賞：中山恵子

学位論文賞（博士）：野崎乃倫子

（熊田禎宣賞・修士）：なし

H30 最優秀発表賞（第 13 回）：

Baffoe Jonathan DARKWAH

出席者；石橋，内田，梶井，鐘ヶ江，木南(莉)，國光，佐々木，鈴木，高橋，多和田，徳永，野崎，氷鮑，藤田，福井，正岡，松本，水野谷，三友，柳原，吉田の各理事(ただし，朝日，浅見，洪澤，高野，原，藪田の各理事より委任状付託；以上理事 27 名出席)；オブザーバとして，臼井名誉理事，大内田監事，大槻 2021 年次大会実行委員長，池川，小川，内藤，野崎，篠崎，古澤，黛の各幹事

議題

徳永会長より，挨拶があった。

1. 新入会員・退会希望者の承認

水野谷総務担当常任理事より，新入会員 1 名の申し込みについて説明があり，入会を諒承。

この結果，正会員 1,033 名，法人会員 6 団体となった。

2. 令和 3 年度第 58 回年次大会の運営

大槻大会運営委員長より，オンライン大会 web のログイン方法やシンポジウム参加の方法などについて説明があり，これを諒承。

水野谷総務担当常任理事より，プログラムの変更について説明があり，これを諒承。さらに，年次大会における総会のプログラムの流れ及び名誉会員の承認および学会賞授賞式について説明があり，これを諒承。

3. 年次大会次期開催地・開催校について

徳永会長より第 59 回（2022 年）年次大会（開催校：麗沢大学）準備の進捗状況について説明があり，これを諒承。

大会副実行委員長の池川幹事より，スケジュール（10 月 7 日～9 日），事務局体制，プログラム，大学アクセス等についての説明があり，これを諒承。

年次大会次次期開催地・開催校について

水野谷総務担当常任理事より，2023 年次大会の開催地・開催校については，慣例に従い西日本で調整予定との説明があり，これを諒承。

4. その他

特になし

IV. 理事会報告

令和 3 年度日本地域学会第 7 回理事会（持回り）

審議期間：令和 3 年 9 月 27 日（月）～30 日（木）

12:00

議題

1. 新入会員・退会希望者の承認

入会 11 名，退会 1 名の報告があり，これを諒承。個人会員 1,032 名 法人会員 6 団体となる。これを諒承。

2. 年次大会シンポジウムの録画・編集および公開許可について

黒潮町ケーブルテレビ放映のための録画編集について報告があり，これを諒承。

3. 年次大会発表における著作権の保護のお願いと録画を行わないことについて

これを諒承。

令和 3 年度 日本地域学会 第 8 回理事会

日時：令和 3 年 10 月 8 日（金）17:00-19:00

場所：オンライン（zoom）

報告事項

1. 『地域学研究』第51巻の編集

多和田機関紙編集委員長より掲載論文について報告があった。第51巻1号は発行済、2号の掲載候補論文は現在11本採択済であり、掲載論文数については今後の投稿状況により最終的に決定する旨の説明があった。

2. Asia-Pacific Journal of Regional Science (APJRS)について

内田事務局次長よりAPJRSに関わる今後の方針および目標についての説明があった。またこれに関連し、科研費研究成果公開促進費(国際情報発信強化)の申請についても説明があった。

3. RSAIの動向

木南(莉)理事より、RSAI理事会、2021世界大会(モロッコ, Zoomによる)、次期会長の選考および鈴木庶務担当常任理事のRSAI博士学位論文賞選考委員選出および議事録確認方法などについて説明があった。

4. PRSCOの動向

鈴木庶務担当常任理事より今後のPRSCO関連の大会についての説明があった。また、2022-23年定期PRSCO会長に鐘ヶ江理事が就任することになったこと、併せて事務局長に鈴木庶務担当常任理事が就任することが決定したことが報告された。

鐘ヶ江理事より、2022京都大会の開催方法、感染予防対策および学会参加費の徴収方法等についての説明があった。

5. その他

特になし。

令和3年度 日本地域学会 第9回 理事会

日時: 令和3年12月11日(土) 13:05-14:40

場所: オンライン(zoom)

出席者: 朝日, 浅見, 石橋, 内田, 鐘ヶ江, 木南(莉), 國光, 佐々木, 渋澤, 鈴木, 高橋, 高野, 多和田, 徳永, 野崎(謙), 氷鮑, 藤岡, 正岡, 松本, 水野谷, 三友, 柳原, 吉田の各理事(ただし, 藤田理事より委任状付託; 以上理事24名出席); オブザーバとして, 臼井名誉理事, 梶井監事, 大

槻2021年次大会実行委員長, 池川, 小川, 内藤, 黛の各幹事

議題

1. 新入会員・退会希望者の承認

水野谷総務担当常任理事より, 新入会員6名, 退会3名について説明があり, これを諒承。

この結果, 正会員1,036名, 法人会員5団体となった。

2. 第58回年次大会報告

大槻大会運営委員長より, オンライン大会webの会計報告について説明があった。オンライン開催のマニュアルは引き継がれる。参加費回収不能の会員への対応は運営委員より事務局へ引き継ぐこととなる。これらを諒承。

水野谷総務担当常任理事より, 年次大会の発表数(セッション数20, 発表数70)について説明があり, これを諒承。

3. 第59回(2022年)年次大会準備状況について

徳永会長より第59回(2022年)年次大会(開催校: 麗沢大学)準備の進捗状況について説明があり, これを諒承。

水野谷総務担当常任理事より, スケジュール(4月より発表受付開始)についての説明があった。再来年度は西日本での開催年となっており, 現在開催校を検討している。これらを諒承。

4. 『地域学研究』セット販売の推進

水野谷総務担当常任理事より, セット販売の購入の検討についての説明があり, これを諒承。

5. 新入会員勧誘キャンペーンの推進

水野谷総務担当常任理事より新会員の拡充についての説明があり, これを諒承。また, 新入会員勧誘キャンペーン担当者の確認が行われた。

6. その他

氷鮑企画担当理事より, Asia-Pacific Journal of Regional Science (APJRS)掲載論文の著作権についての説明があり, これを諒承。

報告事項

1. 『地域学研究』第 51 巻及び 52 巻の編集
多和田機関誌編集委員長より第 51 巻 2 号及び 52 巻 1 号掲載論文について報告があった。また、投稿規定の見直しを現在行っている旨の説明があった。
2. 令和 3 年度第 2 回学会賞優秀発表賞選考委員会および第 4 回学会賞選考委員会報告
学会賞選考委員会副委員長の水野谷総務担当常任理事より、今年度の優秀発表賞 8 名が決定した旨の説明があった。今後、審査を経て最優秀発表賞 1 名が選ばれる予定。
氷鉦企画担当理事より、APJRS 掲載論文の論文賞及び奨励賞授賞について提案があり、今後検討を行うことになった旨、説明があった。
3. RSAI の動向
木南(莉)理事より、RSAI 委員会委員への日本地域学会からの推薦者について説明があった。また、鐘ヶ江理事より、PRSCO 委員メンバーの若手の追加について説明があった。
4. PRSCO の動向
鈴木庶務担当常任理事より PRSCO のホームページのリニューアルとリンク先の変更、会長の選出について報告された。また、来年 PRSCO の世界大会が京都であり、その後の 2028 年まで候補地が決まっていることが報告された。
5. Asia-Pacific Journal of Regional Science (APJRS)について
氷鉦企画担当理事より、各号の発刊状況と今後の見通しについて報告があった。また、編集委員の改選についての報告が行われた。
6. その他
内田事務局次長より事務局の業務の外注について検討している旨が報告された。

令和 3 年度日本地域学会第 10 回理事会(持回り)

審議期間：令和 4 年 1 月 31 日～2 月 7 日(月)
15:00

議題

1. 新入会員・退会希望者の承認
入会 2 名、退会 2 名の報告があり、これを了承。個人会員 1,036 名 法人会員 5 団体となる。
2. Asia-Pacific Journal of Regional Science 編集委員会の件
① 2022-2026 の Asia-Pacific Journal of Regional Science の編集業務を行うメンバーを承認。
② 今後、適宜、Editor-in-Chief の判断により、編集委員の追加を行うことを承認。

V. 委員会報告

1. 学会賞選考委員会

令和 3 年度第 3 回学会賞選考委員会(持回り)
日時：令和 3 年 9 月 10 日(金) - 14 日(火)
(持回りによる審議)

議題

1. 令和 3 年度第 30 回学会賞博士論文賞授賞者の決定
原案通り野崎乃倫子氏を標記学会賞授賞者として理事会に諮ることを承認した。

令和 3 年度第 4 回学会賞選考委員会

日時：令和 3 年 12 月 11 日(土) 10:30-11:00

場所：オンライン(zoom)

出席者：朝日、浅見、洪澤、多和田、徳永、氷鉦、藤岡、松本、水野谷、三友の各委員；オブザーバーとして内田理事、小川、内藤、黛、の各幹事

① 優秀発表賞選考委員会

優秀発表賞選考委員会(委員長 酒井泰弘 滋賀大学名誉教授)では、第 58 回年次大会での発表を対象とした慎重な審議により、下記の会員の方々に令和 3 年度日本地域学会学会賞優秀発表賞を授与する事を決定しました。また優秀発表賞選考委員会での審議は継続しており、今後、今回の優秀発表賞受賞者の中から 1 名の最

優秀発表賞受賞者が決定される予定です。最優秀発表賞の授与式は、本年の年次大会(麗澤大学)で執り行われる予定です。

優秀発表賞：

齊藤 光佑 (新潟大学)

主題：ポストハーベストロスに対するステークホルダーの認知と行動に関する研究：市場創造型イノベーション戦略へのアプローチ

仲田 和生 (高知大学)

主題：シビックプライドの創出とそのプロセス—高知県仁淀川町 C 地区を事例として—

山田 崇雄 (和歌山大学)

主題：産業廃棄物焼却施設におけるエネルギー利用及び ICT・AI の導入意向に関する調査分析

横澤 陸 (筑波大学)

主題：経済的アプローチによるインドネシア・チタルム川水質改善の提言

侯 博偉 (新潟大学)

主題：観光業のパフォーマンスに影響する要因の分析—食を含む観光資源の影響に着目して—

李 靖儀 (新潟大学)

主題：都市の屋上農園の多面的機能に関する研究：東京都を中心として

Pema DORJI (Graduate School of Economics, Nagoya University)

主題：The economic policies for hydropower and the macroeconomy: Macroeconomic simulation for Bhutan

Kongyang NHIAKAO (University of Tsukuba)

主題：An Ex-Post Economic Evaluation of Small Hydropower Project: A Case Study of Nam Che 1 Hydropower Plant, Thathom District of Laos

② 学会賞選考委員会

例年通り、学会賞の推薦書を4月末日を締め切りとして推薦を受け付ける。

氷鉋企画担当理事より、APJRS 掲載論文の論文賞及び奨励賞授賞について提案があり、今後検討を行うことになった。

2. 機関誌編集委員会報告

日本地域学会 第71回機関誌編集委員会

日時：令和3年12月11日(土) 11:00-12:00

場所：オンライン (Zoom)

出席者：浅見、石橋、大槻、梶井、鐘ヶ江、木南(章)、木南(莉)、渋澤、鈴木、高橋、多和田、徳永、内藤、野崎、氷鉋、廣野、藤岡、松本、水野谷、三友、柳原、吉田、

オブザーバーとして、内田、小川、篠崎、黛の各幹事

・審議事項

1. 『地域学研究』第51巻第2号編集状況について

多和田委員長より、レフェリー評価に基づいて、第51巻第2号(2月発刊予定)の編集状況について報告がなされ、最終決定について諒承された。次年度発刊予定の第52巻第1号(8月発刊予定)については、投稿状況の説明がなされ、発刊できる予定である旨を説明がなされた。

2. 同上機関紙印刷方針について

多和田委員長より、第52巻第2号の印刷についても、順調に進む予定である旨の説明がなされた。

3. 『地域学研究』への投稿への推薦論文の選考

高知大会で行われた研究発表について、各セッションの座長評価に基づき、『地域学研究』への投稿依頼を行う論文の選考が行われた。推薦された論文については事務局から依頼を行う。

4. 投稿規定の改定についての検討事項

多和田委員長及び内田理事より、投稿規定の改定案(頁制約を超えた場合、カラー印刷が必要な場合の超過料金についての規定、および参考

文献の書き方)について説明がなされた。頁数制約およびカラー印刷に関する改定案は、継続審議となった。

5. Asia-Pacific Journal of Regional Science(APJRS) について

氷鮑企画担当理事より、APJRS の投稿及び発刊状況、CiteScore 等のジャーナル評価指標の現状と見通しについて説明がなされ、これを了承。また同じく氷鮑企画担当理事より、Asia-Pacific Journal of Regional Science (APJRS)掲載論文の著作権についての説明があり、これを諒承。

VI. 会費納入のお願い

日本地域学会会員各位

日本地域学会
会長 徳永 澄憲

謹啓 貴会員におかれましては益々御健勝のこととお慶び申し上げます。さて、早速ですが、同封致しました請求書の通り、日本地域学会令和4年度会費をご請求申し上げますので、

納入期限 令和4年3月末日
までにお支払いいただけます様お願い申し上げます。

なお、預金口座引落しの手続きを令和4年3月17日までに完了された方には、令和4年6月27日に請求内容にしたがって引落しを行いますのでお早めに手続きをおとり下さる様お奨め致します。また、学生会員年会費の適用には学生証(写し)の提出が必要ですので、pdf か封書にて、学会事務局までお送りください。

何かと出費のかさむ折から誠に恐縮ですが、事務処理の円滑化および再度にわたる督促の経費節減のため上記期限までの早期納入にご協力いただけますよう、かさねてお願い申し上げます。

敬具

1. 令和4年度日本地域学会会費等(適用期間限定)

令和4年度(令和4年4月1日ー令和5年3月31日)

一般会員年会費 13,000 円

学生会員年会費 8,000 円

但し、これらの会費、購読料が適用されるのは、
a) 納入期限(令和4年3月末日)までに上記会費を納入された日本地域学会会員の方、

b) 令和4年3月17日までに預金口座引落としの手続きを完了された日本地域学会会員の方、または、

c) 4月以降に校費(公費)から支出する事を希望し、納入期限(令和4年3月末日)までにその旨、および支払予定日を事務局に申し出た日本地域学会会員の方、に限りますのでご注意ください。

2. 会費の期限内納入の特典

上記納入期限に遅れた場合には、会費関連の事務処理が煩雑となることを考慮して、日本地域学会では、

- 1) 一般会員年会費として14,000円を請求する
 - 2) 学生会員年会費として9,000円を請求する
- という事を決定致しております。この主旨をご理解いただき、会費関連の事務処理の円滑化、経費節減にご協力頂けますよう、事務局からも重ねてお願い申し上げます。

3. Web 会員

本学会機関誌『地域学研究』の電子ジャーナルを、J-STAGE(科学技術情報発信・流通総合システム)により発行しております。これにより、会員の研究成果が広く世界に向けて情報発信されております。Web 会員に登録されますと、最新の論文が電子ジャーナル(本文PDF)として閲覧可能となります。Web 会員登録を希望される方は、学会のホームページから、電子ジャーナル『地域学研究』個人購買者認証申込書(Web 個人会員)をダウンロードしていただき、ご記入の

上、事務局までお申し込みください。

Web 会員価格 (令和 4 年 4 月 1 日ー令和 5 年 3 月 31 日) は以下のようになります。

1) 学会正会員である個人 (Web 個人会員 A) 年会費 2,000 円

2) 学会非会員である個人 (Web 個人会員 B)* 年会費 5,000 円

3) 本学会法人会員である団体もしくは機関 (Web 機関会員 A) 年会費 10,000 円

4) 本学会非法人会員である団体もしくは機関 (Web 機関会員 B)* 年会費 40,000 円

* Web 個人会員 B と Web 機関会員 B は、電子ジャーナル閲覧のみのサービスとなります。

4. RSAI (国際地域学会) への会員登録について

平成 23 年度から RSAI (国際地域学会) への会員登録の方法が変更になっております。従来より日本地域学会の会員は自動的に RSAI (国際地域学会) の会員として登録されておりましたが、会員の増加に伴う国際本部事務局の負担を軽減するため、会員情報を電子メールアドレスで管理する事になっております。したがって、会費を納入する事に加え、電子メールアドレスを日本地域学会事務局に登録することが必要となります。今後も引き続き RSAI (国際地域学会) の会員となることを希望される会員で、電子メールアドレスを日本地域学会事務局に登録されていない方は、会費の納入に合わせて電子メールアドレスを事務局にお知らせください。また RSAI への電子メールアドレスの通知に同意されない方は、日本地域学会事務局にその旨、お知らせください。

Ⅶ. 第 27 回 PRSCO 2022 京都大会のご案内

第 27 回 PRSCO 2022 京都大会が開催されます。会員諸賢におかれましては奮ってご参加ください。

会場：2022/1/22 時点では新型コロナの第 6 波の急激な感染拡大によりサイバー(オンライン)の予定

プラン A: オンライン

(プラン B:ハイブリッド: 飲食会食なしのハイブリッド開催 (対面&オンライン))

主催場所：Plan A の場合：オンラインサイバーセンター@立命館大学歴史都市文化遺産防災研究所

(Plan B の場合：開催許可が出た場合は龍谷大学大宮キャンパスハイブリッド対面会場)



日時：2022 年 8 月 1 日 (月) - 8 月 4 日 (木):
午前 6 時から午後 4 時まで(3:59:59pm) 日本標準時

注:オンラインの参加は、基本的に、日本政府が許可する何もない最短の検疫日に従えば、ビザまたは visa 免除市民権を発行することができる午前 9 時から午後 1 時の間に対面セッションに出席することができます。風土病の場合、午前 6 時から午後 4 時の間に動作し、ハイブリッドは午前 9 時から午後 1 時まで同じになります。

京都の関連イベント: 祇園祭(祭)7 月 1-28 日
(山鉾巡行, 7 月 17 日~24 日)

京の七夕まつり 8 月 1-7 日

<https://kyoto.travel/en/planyourvisit/events>
重要な日程(現在の感染状況下における政府の対応措置により変更されます)

PRSCO の Web サイト開始 (2022 年 2 月, 現在準備中)

2022 年 3 月末に Plan A or B の最終決定
2022 年 3 月 15 日~4 月 1 日: 特別企画セッションの提案と単独発表概要(論文)エントリー<概要査読終了順に発表受付通知を Web サイトに表示>

2022 年 4 月 1 日~5 月 31 日 論文提出と登録開始

～2022年5月30日（サイエンティフィック委員会による審査）

2022年6月15日までに受理通知

2022年6月30日 論文提出〆切

2022年6月30日 発表者登録および支払い〆切

暫定詳細プログラム発表 2022年7月7日

詳細プログラム発表 2022年7月14日

～2022年7月30日（サイエンティフィック委員会によるAPJRS投稿論文審査）

料金：Plan A:オンライン

(Plan B 食事なしのリアル&オンラインの場合の参加費も基本は同額の予定)(22JAN22)

発表者（発表証明付き）および執筆者（共同執筆者）の参加費：350USD（予定）

発表なしの聴衆参加者および討論者：100USD

プレゼンテーション/登録料は、2022年2月末までに組織委員会によって最終決定されます。

大会組織委員会：

鐘ヶ江 秀彦 立命館大学（大会組織委員長）

河村 能夫 京都府立農業大学校・龍谷大学

壽崎 かすみ 龍谷大学（LOC委員長）

李 复屏 龍谷大学（LOC副委員長）

豊田 祐輔 立命館大学

（サイエンティフィック副委員長）

石橋 健一 愛知学院大学（Cyber委員長）

鈴木 聡士 北海学園大学（PRSCO事務局長）

オンラインを基本とした環太平洋における日時の考え方の基本方針について

オンラインの場合は環太平洋諸国に時差があるため、主催者は時間差を考慮に入れてズームでハイブリッドミーティングを検討しました。

プラン A はプラン B の完全オンラインバージョンであり、プラン A も B も同じ時間帯です。PRSCO では環太平洋時間に合わせて米州東海岸時間からインドおよび中東地域を考慮に入れています。表のように、米州タイムゾーンで午前6時から午前9時まで日本標準時(JST), 共通タイムゾーンセッション(シンポジウム, 混合ハイブリッド, またはオンラインのみ)が, JST 午前9時から午前12時まで, アジアタイムゾーンのオンラインセッションが午後1:00から午後5:00 Pm までとなります。

しかしながら、主軸は環太平洋にあるため、我々は、ヨーロッパ(EUと英国)の7時間の時差は、午後1時から午後5時の周りからアジアのタイムゾーンのオンラインセッションの後半でプレゼンテーションと参加によってカバーすることができることを願っています。

新しい PRSCO ハイブリッドスタイルのスケジュールリング

UTC	20	21	22	23	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
東部標準時 (EST) -1D	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1	2	3	4	5
太平洋標準時 (PST) -1D	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1	2
ハワイ標準時 (HST) -1D	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
ニュージーランド標準時 (NZDT)	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
日本標準時 (JST)	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
オーストラリアのE.Std.タイム(AEST)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
東南アジア (UTC+7)	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
プログラム	東太平洋のタイムゾーン			共通タイムゾーンハイブリッドセッションと昼休み						西太平洋環太平洋ゾーン2.5hオンラインセッション				
	2.5hオンラインセッション&ブレイク													

主催者と JSRSAI は、龍谷大学大宮キャンパス(七条大宮)を利用して、午前 9 時から 12 時まで共通時間帯セッションの開催を予定ですが、セッションの一部は参加者の数に限られるすべてのオンラインセッションを含むハイブリッドになります。

京都では規制が厳しくなり、インバウンド需要が激減したため、多くの低価格のゲストハウスは閉鎖されていますが、多くのリーズナブルな価格帯と高級ホテルの建設とオープンラッシュが続いており、2022 年春までに客室数はコロナ前の 2 倍近くになります。宿泊施設の予約は非常に簡単です。特に、京都駅に近い龍谷大学(七条大宮)の大宮キャンパスには、京都駅周辺の非常に多くのホテルがあります。また、近くの七条堀川や、梅小路駅周辺には新しいホテルエリアが誕生しています。

<https://www.google.com/maps/search/龍谷大学大宮キャンパス+ホテル/@34.9900617,135.7499366,16z>

LOC は、龍谷大学の大学大宮キャンパスを含め、エクササイズや大人数での会食が困難なため、政府や京都市・京都府が開催時点で許容される人数でのご家族やご友人でのご会食や個別の少人数での京都水族館、京都鉄道博物館、京都のポケモンセンター、スカイホップバスツアーなどをご利用ください(LOC では今回はエクササイズ、コーヒードリンク、昼食、歓迎レセプション、ガラ・ディナーは行政の指導と大学の基準からご提供が叶いません)。

<https://www.kyotoga.jp/umekouji/suzakunoniwa/>
<https://www.kyotoga.jp/umekouji/midorinoyakata/>
<https://www.kyoto-aquarium.com/index.html>
<https://www.kyotorailwaymuseum.jp>
<https://www.pokemon.co.jp/shop/pokecen/kyoto/>
<http://www.taizoin.com/zen/>
<https://shunkoin.com>

VIII. 学会賞候補者推薦の募集

日本地域学会では、地域科学 (Regional Science) の発展に貢献する優れた会員の業績をたたえる為、日本地域学会学会賞を毎年授与しています。今年度も日本地域学会学会賞 (第 31 回) 授賞選考候補者の推薦の募集を行いますので、どうか奮ってご応募下さい。学会賞は以下の各賞からなります。

功績賞: 地域科学の進歩および学会の運営に顕著な貢献をなした会員を表彰する。

論文賞: すぐれた研究論文によって地域科学の発展に著しく寄与し、研究業績の意義や貢献が多岐である会員を表彰する。

奨励賞: 若手研究者ですぐれた研究論文を発表した会員を表彰する。

著作賞: 地域科学の発展に著しく寄与し、その意義や貢献が多岐である著作物を表彰する。

学位論文賞: 本学会会員である博士または修士課程修了者がその修了要件として提出したすぐれた学位論文を表彰する。

優秀発表賞: 年次大会においてすぐれた論文発表を行った会員に優秀発表賞を授与する。このうち最も優秀な論文発表を行った会員に最優秀発表賞を授与する。

功績賞・論文賞・奨励賞・最優秀発表賞受賞者には賞状とメダルが、著作賞・学位論文賞・優秀発表賞受賞者には賞状が授与されます。

第 31 回日本地域学会学会賞 授賞選考候補者推薦応募要領

◇応募期限:

1) 功績賞・論文賞・奨励賞・著作賞・学位論文賞

令和 4 年 4 月 28 日 (木) (事務局必着)

2) 優秀発表賞

令和 4 年 4 月 25 日 (月) (年次大会発表申し込みと同時)

◇応募方法: 功績賞への応募は他薦のみ, 優秀発表賞への応募は自薦のみですが, その他への応募は自薦, 他薦を問いません。専用の応募用紙を事務局に提出して下さい。

◇推薦資格: 推薦者は, 日本地域学会会員であることが必要です。

◇受賞資格等:

1) 論文賞および奨励賞の表彰対象となる研究業績は, 過去2年間(暦年)に発表したもので, その主たるものが本学会関連誌『地域学研究 (Studies in Regional Science)』, Papers in Regional Science of the RSAI 又は Asia-Pacific Journal of Regional Science に掲載されている論文であることが条件です。

2) 奨励賞の応募については, 年齢がその表彰対象となるべき主たる研究業績の発表当時 35 才未満であった事が必要です。

3) 著作賞の表彰対象となる著作物については, 過去2年以内に出版もしくは公表された研究図書であることが条件です。

4) 学位論文賞については, 表彰の時点において修了後3年以内のもので, 当該学位論文に関連した学術論文を本学会の学術セッションで発表しているか, または本学会機関誌『地域学研究』あるいはこれに準ずる専門誌に掲載または掲載可として受理されていることが条件となります。なお, 年齢による制限はありません。

5) 優秀発表賞については, 以下のいずれかである必要があります。①授賞対象となる論文発表の年度末において30歳以下である会員, ②授賞対象となる論文発表時において大学院に在籍する会員, ③年次大会の Early-bird Session (アーリー・バードセッション) で発表する会員であり, 理事会がその表彰を適当と認めた会員。更にいずれの場合も, 対象となる論文の第一著者であり, かつ年次大会当日に口頭発表を行う本人である必要があります。

◇選考方法: 「日本地域学会学会賞(奨励賞・論文賞・功績賞)に関する規程」, 「日本地域学会著作賞に関する規程」, 「日本地域学会学会賞学位

論文賞規程」, 「日本地域学会学会賞優秀発表賞規程」に基づく選考委員会の審議による。決定次第, 受賞者には連絡します。

◇授賞式: 第59回年次大会における総会(令和4年10月麗澤大学)にて執り行います。最優秀発表賞については, 翌年の年次大会で執り行います。

◇応募用紙の請求: 日本地域学会事務局まで賞の種別を明記してご請求下さい。優秀発表賞については, 年次大会発表申込用紙中に応募欄があります。

IX. 会員の移動

令和2年12月13日～令和3年10月9日

新入会員

正会員 43名

雨宮 寛	安藤 崇	江良 亮
大高 明	大橋 弘明	奥寺 葵
梶原 はづき	粕尾 周平	金井 司
木村 勇輝	小林 博子	駒田 笑奈
齋藤 紀子	斎藤 光祐	酒寄 千展
佐々 浩樹	笹谷 秀光	杉本 卓也
鈴木 雄	立川 力	仲田 和生
中谷 朋昭	中村 天星	橋本 隆子
廣田 昌史	福田 智久	古橋 元
森 一将	矢嶋 栄司	山本 晋玄
横澤 陸	横田 匡俊	侯 博偉
遅 博雅	張 銘	武 雅瑠
李 明珠	李 靖儀	

Heine, Mikela Lizzie

Artima KAMPLEAN

PUMANZI Hypolite

SCHOUTEN Andrew

SENGKHAMYONG XAYSOMPHEUNG PHENG

退会会員

正会員 24名

磯部 友彦	伊藤 敏安	植村 利男
-------	-------	-------

枝川 真弓	大沢 良平	片谷 教孝
亀崎 隆一	慶田 収	坂本 大貴
佐々木 嶺	柴田 靖史	白井 正敏
武田 晋一	辻岡 卓	辻 京子
長野 晋平	根上 彰生	原田 弘子
廣島 康裕	松本 源太郎	水谷 仁
三橋 初仁	MAKMUR	

Valenti Marly Patandianan

会員数

個人会員 1,033 名

法人会員 6 団体

『地域学研究』バックナンバー/ 定期講読申込書

宛先: 筑波大学生命環境系水野谷研究室
〒305-8572 つくば市天王台 1-1-1
tel +81-29-853-7221 (fax)

日本地域学会事務局 御中

日本地域学会機関誌の定期講読を申込ます (8,000 円/年)。(PRINT ISSN: 0287-6256)

下記のとおり、日本地域学会機関誌のバックナンバーを申込ます。

令和 年 月 日 氏名: 印
所属:
住所:
電話, fax:
E-mail:

記念事業セット販売			
フルセット:『地域学会年報(1-6号)』+『地域学研究(第1-48巻)』		580,000円	
セミセット:『地域学研究(第1-48巻)』		550,000円	
		小計	円
『地域学会年報』(第1-6号)			
1号 10,300円		2号 10,300円	
4号 10,300円		5号 10,300円	
		3号 10,300円	
		6号 10,300円	
『地域学研究』(第1-19巻)			
第1巻 8,000円		第2巻 8,000円	
第4巻 8,000円		第5巻 8,000円	
第7巻 8,000円		第8巻 8,000円	
第10巻 8,000円		第11巻 10,000円	
第13巻 8,000円		第14巻 8,000円	
第16巻 8,000円		第17巻 10,000円	
第19巻 9,400円			
		第3巻 8,000円	
		第6巻 8,000円	
		第9巻 8,000円	
		第12巻 10,000円	
		第15巻 10,000円	
		第18巻 10,000円	
『地域学研究』(第20-28巻) no.1,no.2			
第20巻 no.1 9,000円		第20巻 no.2 3,500円	
第21巻 no.2 3,500円		第22巻 no.1 10,000円	
第23巻 no.1 10,000円		第23巻 no.2 3,500円	
第24巻 no.2 3,500円		第25巻 no.1 10,000円	
第26巻 no.1 10,000円		第26巻 no.2 3,500円	
第27巻 no.2 3,500円		第28巻 no.1 10,000円	
		第21巻 no.1 10,000円	
		第22巻 no.2 3,500円	
		第24巻 no.1 10,000円	
		第25巻 no.2 3,500円	
		第27巻 no.1 10,000円	
		第28巻 no.2 3,500円	
『地域学研究』(第29巻-)no.1,no.2,no.3			
第29巻 no.1 7,000円		第29巻 no.2 3,500円	
第30巻 no.1 7,000円		第30巻 no.2 3,500円	
第31巻 no.1 7,000円		第31巻 no.2 3,500円	
第32巻 no.1 7,000円		第32巻 no.2 3,500円	
第33巻 no.1 7,000円		第33巻 no.2 3,500円	
第34巻 no.1 7,000円		第34巻 no.2 3,500円	
		第29巻 no.3 7,000円	
		第30巻 no.3 7,000円	
		第31巻 no.3 7,000円	
		第32巻 no.3 7,000円	
		第33巻 no.3 7,000円	
		第34巻 no.3 7,000円	
『地域学研究』(第35巻-)1ボリューム4冊一括販売 16,000円; 8,000円/冊			
第35巻 no.1	第35巻 no.2	第35巻 no.3	第35巻 no.4
第36巻 no.1	第36巻 no.2	第36巻 no.3	第36巻 no.4
第37巻 no.1	第37巻 no.2	第37巻 no.3	第37巻 no.4
第38巻 no.1	第38巻 no.2	第38巻 no.3	第38巻 no.4
第39巻 no.1	第39巻 no.2	第39巻 no.3	第39巻 no.4
第40巻 no.1	第40巻 no.2	第40巻 no.3	第40巻 no.4
第41巻 no.1	第41巻 no.2	第41巻 no.3	第41巻 no.4
第42巻 no.1	第42巻 no.2	第42巻 no.3	第42巻 no.4
第43巻 no.1	第43巻 no.2	第43巻 no.3	第43巻 no.4
第44巻 no.1	第44巻 no.2	第44巻 no.3	第44巻 no.4
第45巻 no.1	第45巻 no.2	第45巻 no.3	第45巻 no.4
第46巻 no.1	第46巻 no.2	第46巻 no.3	第46巻 no.4
『地域学研究』(第47巻-)1ボリューム2冊一括販売 8,000円; 6,000円/冊			
第47巻 no.1	第47巻 no.2	第48巻 no.1	第48巻 no.2
第49巻 no.1	第49巻 no.2	第50巻 no.1	第50巻 no.2
第51巻 no.1	第52巻 no.2		

※第48巻以降セット販売の場合、第47巻までのセット価格+第48巻以降1巻当り30%割引価格となります

購入総額合計 _____ 円

※ 申込該当箇所には○をする。□にはチェックする。

機関購入の場合は、氏名、所属に見積り、納品、請求書宛名機関名等を記入、責任者押印 以上

令和元年 12 月 15 日改定

日本地域学会 正会員 入会申込書

20 年 月 日

日本地域学会
会長 徳永 澄憲 殿

日本地域学会 会則第5条に定める正会員として下記の通り入会を申し込みます。

氏名： 印

記

ふりがな				年 月 日生 歳 ※男・女
氏名				同英文 (last name, first name)
所 属 先	機関名	(年 月より)		同英文
	所属			同英文
	職名			同英文
	所在地	〒		同英文
	電話： ()		fax: ()	
	e-mail			
自 宅	住所	〒 配送希望先※ (どちらかを○) 勤務先・自宅		同英文
	電話： ()		fax: ()	
	e-mail			
学 歴	年 月入学			
	年 月※卒業・修了・満期退学			
職 歴	年 月			
	年 月			
	年 月			
	年 月			
専 門 分 野	専攻：		学位： (大学)	
	<i>Regional Science Association International (RSAI)</i> の研究領域分類 (複数回答可, 入会案内参照)			
	I. ISSUE ORIENTATION		II. THEORETICAL/METHOD-LOGICAL ORIENTATION	
	III. MODE OF ANALYSIS		IV. REGIONAL FOCUS	
所属他学会				
紹介者 (会員に限る)				印

以上 (※は該当項目に○をする)

事務局記入欄	入会承認	年 月 日 第 回理事会	退会承認	年 月 日 第 回理事会
--------	------	--------------	------	--------------